

# 経営比較分析表／団体全体（令和元年度決算）

石川県 金沢市

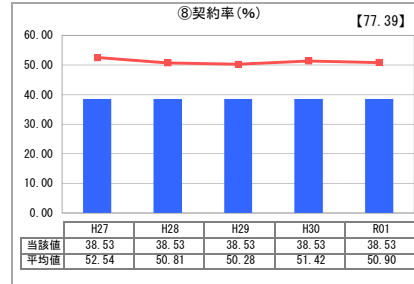
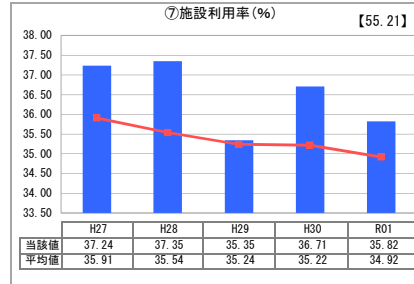
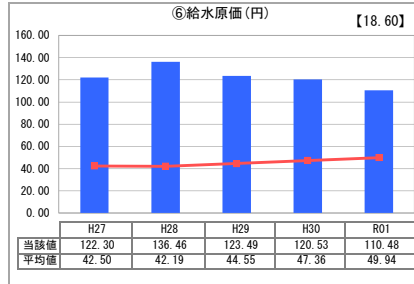
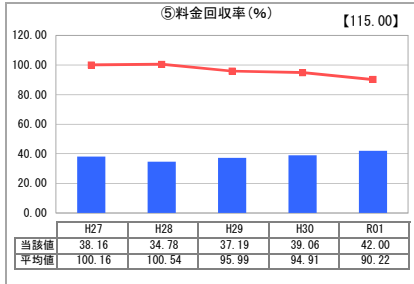
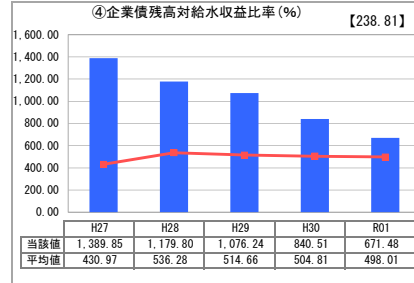
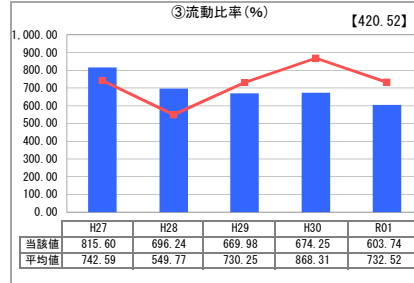
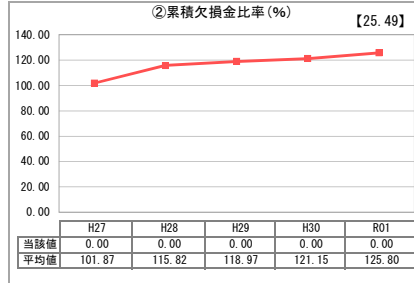
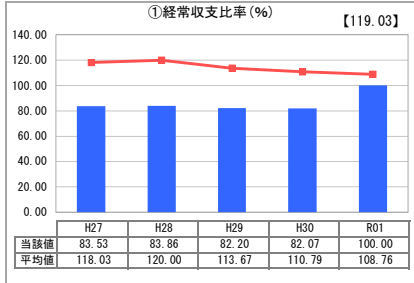
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m <sup>3</sup> /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m <sup>3</sup> )
法適用	工業用水道事業	1,700	極小規模	1	609
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m <sup>3</sup> /日)	管理者の情報	
-	85.0	5	655	自治体職員 その他	

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

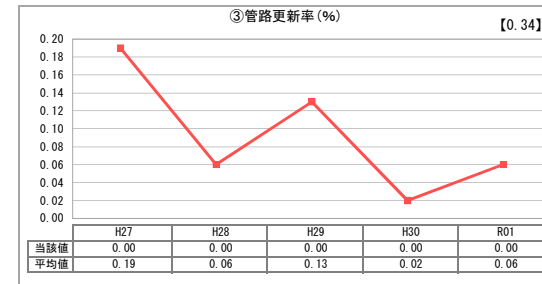
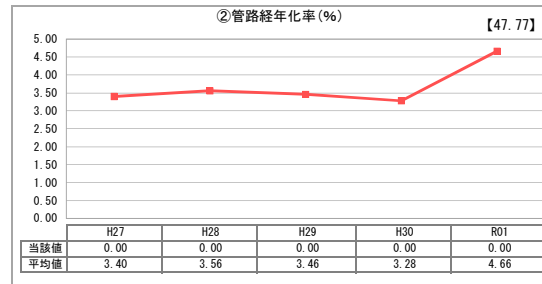
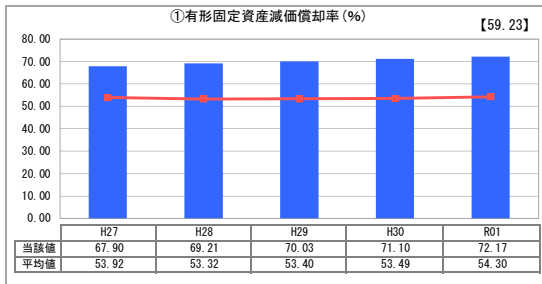
①経常収支比率については、令和元年度に100%となったが、⑧契約率が約40%であり契約水量と供給能力に大きな乖離があることや、⑤料金回収率が約40%である通り、給水原価が供給単価を下回っている状態である。

④企業債残高対給水収益比率については、新たな借入をしていないことから着実に償還が進んでいる。

2. 老朽化の状況について

本市の工業用水道事業は、給水開始が平成9年であり更新時期を迎えていないため、②管路経年化率及び③管路更新率は0%となっている。また、新たな投資を行っていないことから①有形固定資産減価償却率は年々増加している。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

工業用水道事業は、低廉な価格の工業用水道を企業に供給することにより地域産業の振興に寄与しているが、今後大幅な増収が期待出来ない状況にあることから、施設等の適切な維持管理を図るとともに業務効率化に努めていく。

また、施設及び設備の更新時期が迫っていることから、規模や方法について方針を検討していく。